

# 磐城時報

編輯人 岡田弘成  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
電話 一四二五  
廣告料 一月一元五角  
訂金 半年七元五角  
全年十四元五角  
休刊 日曜・祭日・休日

## 平町徴兵検査成績 昨年度より好成績 花柳病者は僅か一名 甲種合格者四十八名

平町の徴兵検査は七日執行したが、検査人員は本籍百十八名、現役志願二名合計百二十名で、甲種合格者は本籍百十九名、留者十九名である、本年の壯丁成績は寄留に一名の花柳病患者があつたのみで昨年と比較すると成績が非常に良好である。甲種合格者左の如し

## 四倉青年が 水泳教授

石城郡各領では海水浴客を歓迎する準備を取急いでいるが、浴場開きは何處も二十日の土用入り頃になるだらうが、四倉では青年團が十五日頃から水泳練習所を開設して無料で水泳を教授する仕組であり、その他各地もそれぞれに迎客の計劃をたてゝゐる。

## 六月成績 四倉驛の

石城郡四倉驛に於ける六月分の成績は左の如し  
▲貨物發送八千四百八十噸、到着九千三百五十三噸、料金三萬二千八百九十八圓九十錢  
▲乗車人員一萬三千六百二十三人で賃金は三千六百七十三圓四十錢、降車人員一萬三千四百二十八人  
▲小荷物發送千六百二十七個、料金七百二十五圓八十四錢  
▲到着數二千六十一個

## 小學兒童の 蠅取競争

平町警察署では平町役場と協力し小學校兒童の蠅取競争を行ふ事になつたが、方法は近く發表の筈である。

## 戸數割決定町會 修正人員四百八十八名

平町昭和五年度特別税戸數割賦額したものは二百三三名、減額したものは二百八十五名、修正金額三百三十三圓、二ヶ年繼續事業なので、現在の水道課員では到底工事監督が不可能なため當局では新たに技術員並に雇員級の事務員數名を雇入れることとなつた

▲花合賭博 石城郡警務村字上湯長谷小野田炭礦坑夫櫻井壽助(三八)外二名は五日夜櫻井方で花札賭博開帳中平署に檢舉さる。

## 小田炭礦の出炭量 舊態に復す 新斜坑は排水中 労働者は一名も解雇せぬ

石城郡好間村大字上好間小田炭礦を起し、目下町長の手元にたゞの炭礦新斜坑の出炭のたけで、雇員書が六十通余りも提出したが、五日からは全山採出されてゐるの噂だが、娘一炭を中止したが、五日からは舊人に雇入るのこの就職運動には坑の採炭作業を開始した。新斜坑の排水は最初一小時四百立方尺であつたが、漸次出水量が減り、七日には百六十立方尺となつたので出水筒所に二百立方尺の排水ポンプを据付け更に溜水は四百立方尺のポンプで排水に努めてゐるから近く排水をせり從前通り採炭が出来るわけである

## 平新田町附近に 泥棒が横行

平町各所に最近泥棒が横行し盗から遺憾ながら延長は出来ぬと平町各所に最近泥棒が横行し盗から遺憾ながら延長は出来ぬと平町各所に最近泥棒が横行し盗から遺憾ながら延長は出来ぬと

## 青訓査閲 小柳知事

小柳知事は十日午後來平任吉屋本店に投宿し十一日平町青年訓練生の演習査閲を行ふ筈である

## 運轉延長願 旅客列車

石城町村長支會では先に郡山線川前村駒籠は四日、五日、六日午後八時に發して小野新町線百二十九頭で總賣上高八千五百圓、最高二百三十六圓、最低二十圓、平均六十六圓十錢

## 町内美化 四倉校で

石城郡四倉小學校長菊地正一氏は四倉町が夏期に於て避暑客が入り込むのを豫想し兒童をして町内の美化作業を行はしめる事となつたが、来る十日から九月まで毎月三回作業を行ふ筈である

## 旅館に注意 四倉署で

四倉警察署では八日午前九時より四倉署管内旅館營業者を集め夏季に關する取締上の注意をなすべく査閲を行ふ筈である

## 川前駒籠 運轉延長願

石城町村長支會では先に郡山線川前村駒籠は四日、五日、六日午後八時に發して小野新町線百二十九頭で總賣上高八千五百圓、最高二百三十六圓、最低二十圓、平均六十六圓十錢

### 第三營業報告

自昭和四年十二月一日至昭和五年五月卅一日

貸借對照表

資産部	未拂込株金	20,000.00
	出掛金	2,850.00
	貸出金	2,750.00
	貸付金	5,950.00
	貸付金	4,400.00
	貸付金	5,450.00
	貸付金	2,600.00
	貸付金	2,600.00
負債部	未收入口金	3,100.00
	未收入口金	3,100.00
	未收入口金	3,100.00
	未收入口金	3,100.00
	未收入口金	3,100.00
	未收入口金	3,100.00

株	未入金	10,000.00
借	未入金	10,000.00
法	未入金	10,000.00
假	未入金	10,000.00
積	未入金	10,000.00
法	未入金	10,000.00
定	未入金	10,000.00
備	未入金	10,000.00
前	未入金	10,000.00
未	未入金	10,000.00
利	未入金	10,000.00
合	未入金	10,000.00
計	未入金	10,000.00

# 料理店やカフェー 十余軒を檢舉

## 時間外営業特別執行

平署では料理店飲食店等の営業時間は夜十二時限りとなつて居るが、十二時になると居る客を追い出すわけにも行かぬ業者の立場を察し夜十二時後は客をあげぬこと(但し十二時以前に入つた客)は一時まででは黙認する事とし寛大な措置を取つて居たが、最近業者は警察の處置に甘へて時間を無制限的に営業するものが出て来たので、平署では六月午前一時半を期し管内全般に亘りこれ等業者の時間外営業取締りを特別執行したところ藝妓を待らした料理店松のや外二軒、小料理店では田町梅月外数軒、カフェーでは驛前タヒラ等合計十余軒に達した。これ等に対し同署ではその夜の事情により相當の處置を取る筈であるが、飲食店は大体起きては居たものの客は無かつた。

昔は娼妓が公然たる肉慾満足機關だつたのに對立して藝者は幾らか異つた特色をもつてゐた。今は藝者と娼妓との間に(理窟は免れぬ)男の感情からみて大した相違はない。相違のないといふことは好奇心が起らぬといふことだ。男性が花柳界に遊ぶのは直接間接に遊戯的性慾即ち好奇心から來てゐることを思へば、特色のないもの、いへばれば好奇心を煽らぬものは滅亡の外ない。

藝者といふものが花柳界の舊的階級であることは以上の如くだが、更にその扮装装束のすべてが時代に遅れてゐる。藝で賣るならモット上品に茶の湯、生花の一つも心得てほしい。肉で賣るなら十年一日萬人同型の藝者タイプを廢してお化粧の上にも服装の上にも大膽に自己を表現して、若い男を魅惑するがよい。

### 平産農會で 野菜市開催

石城郡平産村農會では九日夜から九月まで毎夜平町警署銀行前に於て野菜市を開催する。

### 藝妓の落先

世話人生  
縣下の花柳界では又本年も遊興税の問題にしてゐる。責任納付制のよいか悪いかは多少の議論もあるが、遊興税の如きは今後益々重課して差支ない税目だ。

それよりも花柳界殊に藝者なものは將來何とか自己の行くべき道を考へないこと、この不景氣時代ばかりでなく、今後永遠に存在の理由がなくなるかも知れぬ。藝者で飯を食つてゐる料理屋や待合も同様の運命にある。

吉原でさへ、時代の前には一階級も落ちたにせいで、勇者に今やすすでにその時が來た。

榮共ト存共△  
融金ノ易問△  
蓄貯ノ味趣△  
商堅ト意誠△

内：電話△  
リア所扱取=所ル至△  
イサ下込申モデ時何△  
スマリ業ヲ貧富ズエ△

**腸胃** 専門 内科  
十二指 腸胃病  
婦人病 淋病  
皮膚病 専門

院醫科 村松  
(七〇一話電)

鼻の薬「チクノール」  
平五 山野邊藥局

**葵** 花物 五色物  
安く譲ります  
平町新川町(郵便局裏)  
**中野勇吉**  
電話一三三番

清楚な……サロン  
明るい……サロン  
洋酒は……サロン

清楚な食堂 **サロ**  
電話三五二

食事は……サロン  
奉仕は……サロン  
僕等の……サロン

サロンの公休日は毎月(第三火曜日)に変更いたしました

愈々海水浴のシーズンは來ました

皆さん  
是非……四倉脱衣所組合へ  
本年は不況の折柄特に  
四倉間 自動車往復……食券付  
一枚金九十五錢

但し團體の際は特に御相談に應じます  
期間……七月十日ヨリ……九月十日マデ  
申込所 平町田町 初音  
電話二三三番

セキヤ草 祛痰  
鎮咳液

特約内關  
局藥内關  
番〇四話電 目丁四町平

**洋服**

輕装上衣 黒セル 4.20  
カシミヤ 10.00  
白直衣 1.60  
白ツボン 2.60

輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。

平二 **ふかや洋服店** 電話203

消費節約 品質本位 家庭染料

**みよお染**

特店約大平や藥店  
平町一丁目  
電話六四二番

無料 検眼 TONWAY

無料 眼鏡

専門眼科醫師擔任  
無料 検眼

近視 老視 亂視 遠視 斜視

無料 検眼券 眼鏡部 電話三三九  
ご利用下さい

平町一丁目 **常盤屋時計店**